

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	風輪クラブ		
○保護者評価実施期間	R7年 5月 30日		~ R7年 6月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	R7年 2月 23日		~ R7年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	星空ガーデン・青空ガーデンでの農育活動	土を耕す、同法人である「ゆうゆう牧場ホーシーセンター」の馬糞を肥料にし、種を植えることから育て、収穫をし食する。 一連の取組みを行うことで生きる力を身に着けている。	「自然」という良質な資源を最大限に活かしていくための取り組みを引き続き行っていく。  生きること、食することの大切さを伝えていく。
2	活動プログラムの充実	農育プログラムの他にも、フラワー教室や、自社の畑で育てた農作物を使った食育、地域の方におそわりながらお饅頭作りなどの食育プログラムにも力を入れている。	個々の特性に合わせながら、また、本人の意向を確認しながら、様々な体験をし、本人の自信や向上心につながるよう支援を行っていく。  収穫した野菜を使った料理のさらなる充実を図る。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場が少ない	保護者同士が話せる場が少ない	畑の収穫作業に親子で参加してもらうなど、具体的に親子でまた保護者同士が関われる交流の場を作りたい
2	非常時の対応が不明瞭	職員間での共有は出来ているが、利用者家族へのお知らせがされていない	お便り・HP等で周知していく
3	事業所の施設設備や職員の人数などの紹介が少ない	利用者家族と対面で会う機会をもつ職員が、児童発達支援管理者やドライバー等、特定の職員に限られている	お便り・HP等でお知らせしていく  イベント等、家族の方に事業所に来てもらう機会を増やしていく